

## 2015 年度第 6 回 長崎大学経済学部ファカルティセミナー

2015 年度第 6 回長崎大学経済学部ファカルティセミナーを以下の要領で行います。教職員、大学院生、学生の参加をお待ちしています。

日 時：2015 年 12 月 11 日（金） 10:30～12:00

場 所：東南アジア研究所 1 階 ファカルティセミナー室

報告者：工藤 健（長崎大学経済学部）

報告タイトル：金融政策運営におけるコア・インフレーション指標の検討

要旨：1990 年のニュージーランドを皮切りに、イギリス、カナダなどの先進国や、タイ、ブラジルといった新興国においてもインフレ目標政策が、金融政策運営において広く普及してきている。日本においても、2013 年に 2 パーセントのインフレ目標を導入するに至っている。インフレ目標政策は、金融政策運営における明確な説明責任を要求するため、参照すべきインフレ率の指標をどのように定義するかが問題になる。そこで、金融政策で参照すべきインフレ率の指標として、食料やエネルギーなどの特定品目を除く指標や、刈り込み平均、加重中央値などのさまざまなコア・インフレーション指標が提案されてきた。しかし、純粋な統計的処理に基づく従来の方法では一定の規範的評価を下すことは困難であり、論者により結論が大きく異なっている。

本研究では、経済における物価調整コストを最小化するような指標を定義し、特定品目を除く指標、刈り込み平均や加重中央値などの従来のコア・インフレーション指標との比較を行う。従来の指標とは異なり、本研究で導き出す指標は構造モデルに基づくため、その前提の下で一定の規範的評価を下すことが可能である。

ファカルティセミナーでの報告を希望される方は、研究企画委員会ファカルティセミナー担当者（藤田）までご連絡下さい（Mail:fujitatf@nagasaki-u.ac.jp, 内線:361）。また外部者による報告も受け付けています。